

日本物理学会領域2 運営会議 議事録

日時: 2012年3月25日(日)12:25 - 13:24

場所: 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス YG 会場

司会: 領域2代表 安藤晃

書記: 領域2運営委員 田村直樹

出席者: 約40名

報告事項

1. 2012年10月からの新役員体制について提案があり、交代する役員及び新たな役員について説明があった。これについて承認頂いた。(r2meeting120325.pdf 4ページ)
2. 今大会(第66年次大会)から開始された学生優秀発表賞について紹介があった。(r2meeting120325.pdf 5ページ)
3. 若手奨励賞(第7回(2013年))選考について紹介があった。(r2meeting120325.pdf 6ページ)
4. 横浜国立大学で開催される2012年秋季大会について案内があった。この2012年秋季大会から1)若干キーワードが変更になったこと, 2)追加申込が可能になったこと, が紹介された。(r2meeting120325.pdf 7ページ)
5. 上記秋季大会において現在提案されているチュートリアル講演及び招待講演, シンポジウムについて, それぞれの提案者から説明があった。(r2meeting120325.pdf 8-12ページ)
 - 企画(チュートリアル)講演:「高エネルギー粒子とグローバル MHD モードとの相互作用研究の最前線」東井和夫先生(提案者:市村真先生)
 - 招待講演:「光科学の導入によるプラズマ研究の新しい展開」荒巻光利先生(提案者:安藤晃先生)
 - 招待講演:「コンプレックスプラズマにおける微粒子構造形成」石原修先生(提案者:安藤晃先生)
 - シンポジウム:「負イオン科学の新展開」(提案者:安藤晃先生)
6. PLASMA2011に関する最終報告について紹介があった。(r2meeting120325.pdf 13ページ)
 - 核融合研の居田先生より,「今回、口頭発表に聴衆が少なかった。プログラム編成の仕方などにより改善をして頂きたい」とのご意見を頂いた。
 - 核融合研の伊藤公孝先生より,「異なる文化を持つ各学協会の意見交換の場としての Plasma Conference の今後の展望とそれに対する領域2としての取り組みについて意見を聞きたい」とあり, 領域2代表の安藤より説明があった。また, 領域2副代表の米田より追加の説明があった。
 - その他, 会場の広さなどについてコメントがあった。
7. 2012年3月19日(月)から22日(木)まで開催されたプラズマ宇宙物理3学会合同セッションについて領域2運営委員の三好より報告があった。また, 同合同セッションの3巡目を実施したい旨の提案があり, これについて承認頂いた。(r2meeting120325.pdf 14-16ページ)
 - ポスター発表を開催するかどうかについて, 物理学会としてはポスター発表も認めて

いるので、確保できる会場の数などを踏まえて今後調整していくこととした。

8. 日本物理学会の物性分野における領域の略称・表示に関する提案について紹介があり、2012年4月6日まで領域2代表まで意見を求めることとした。(r2meeting120325.pdf 17ページ)
9. APS, EPS, GEC などにおける招待講演などへの One Voice 推薦について紹介があった。(r2meeting120325.pdf 18 ページ)
10. 日本学術会議の活動について九州大学の伊藤早苗先生より報告があった。(資料非公開)
11. AAPPS について、特に今後の活動について領域2前代表の菊池より報告があった。(r2meeting120325.pdf 21 ページ)

以上